

議 事 概 要

分科会名称	令和元年度 第1回認知症にやさしいまちづくり分科会
開催日時	令和元年10月31日(木) 14:00~15:20
開催場所	伊勢市役所 東館5-4会議室
出席した委員	徳田敦、村瀬広和、杉谷誠、前田泉、山川伸隆、藤田慶子、河原知子 計7名
欠席した委員	なし
出席した事務局職員	小林(高齢者支援課長)、田代(包括支援係長)、堤(包括支援係)
議題及び協議概要	<p>1. 事務局から配布資料に基づいて説明 伊勢市における認知症施策の取り組み報告 資料1 資料2 別紙</p> <p>2. 各機関における取り組みについて及び意見交換 (委員) 今年度市に提案した新しい取り組みはほとんど実現している。今後も提案していく。 認知症サポーターの活用に関する課題について。認知症サポーターの何か(活動)したいという思いと、サポートを必要としている認知症当事者や家族がつながることができる仕組みづくりが必要。 (委員) 一般市民向以外にも、介護専門職についても認知症に関する周知・啓発が不十分である。さらに努力する必要がある。 介護事業所連絡会の協力を仰ぎながら、認知症サポーター養成講座を介護事業所内で「研修」の一環として開催する事が望まれる。 (委員) 認知症対応型共同生活介護施設として、軽度から重度の認知症の方への支援をしている。今後も、職員の認知症に対する理解の促進を図り、実際のケアに反映させていく。 (委員) 若年性認知症の当事者・家族の集える場を考えており、支援をお願いしたい。 認知症の人と家族の会として、「チームオレンジ」の取り組みを県、市と共に実施した。始まったばかりの取り組みであり、今後も尽力したい。 (委員) 「ちょこっとデイサービス」を運営している。高齢者への支援という広義の意味での活動だが、「認知症」は重要な課題である。 家族が近くにいっても、認知症に対する理解が乏しく協力が得られな場合もあり、独居高齢者だけの問題ではない。</p>

(委員) 薬剤師会として、認知症の方への更なる支援のため、定期的な研修会を実施している。認知症の予防・早期発見・支援につなぐ役割を果たしていきたい。

(委員) 家族がいても、無関心や支援が望めない場合もある。「認知症にやさしいまちづくり」においては、本人に対する支援だけでなく、「家族への支援」も重要である。

(委員) まだ、認知症を他の病気と同じように周囲へ打ち明けられない風潮がある。認知症に関する正しい理解・知識の啓発が重要。

(委員) 地域が「認知症の人」をありのまま受け入れるということは、まだ難しいのが現状。今後も、地域を育てるという観点が重要。

6. その他

事務局 次回開催について説明。